

作成日 2020年4月6日

安全データシート

(1) 製品及び会社情報

製品名 : プロ用ハチ駆除剤
 会社名 : 大日本除虫菊株式会社
 住所 : 大阪府大阪市西区土佐堀1丁目4番11号
 担当部門 : お客様相談室
 電話番号 : 06-6441-1105
 整理番号 : 1464

(2) 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日 : 2020年4月6日、JIS Z 7252 GHSに基づく化学品の分類方法
 物理化学的危険性 : 可燃性/引火性エアゾール 区分1
 健康有害性 : 急性毒性(経口) 区分外
 急性毒性(経皮) 区分外
 急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外
 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分外
 皮膚腐食性/刺激性 区分外
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2A
 皮膚感作性 区分外
 生殖細胞変異原性 分類できない
 発がん性 区分外
 生殖毒性 区分2
 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) 区分1(中枢神経系、腎臓、全身毒性)
 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) 区分2(血管、肝臓、脾臓)
 吸引性呼吸器有害性 分類できない
 環境有害性 : 水生環境有害性-短期(急性) 区分1
 水生環境有害性-長期(慢性) 区分1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :
 ・極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール
 ・高圧容器:熱すると破裂のおそれ
 ・強い眼刺激性
 ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 ・臓器の障害(中枢神経系、腎臓、全身毒性)
 ・長期にわたる、又は反復ばく露による血管、肝臓、脾臓の障害のおそれ
 ・長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き :

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・熱/高温のもの/火花/裸火のような着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
- ・使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
- ・ミスト/スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・取扱い後は手をよく洗うこと。

- ・ 環境への放出を避けること
 - ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 【応急措置】
- ・ 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - ・ 眼に入った場合、水で注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容
易に外せる場合は外すこと。眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを
受けること。
 - ・ ばく露あるいはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けるこ
と。
 - ・ 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 - ・ 漏出物を回収すること。
- 【保管】
- ・ 施錠して保管すること。
 - ・ 日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。
- 【廃棄】
- ・ 内容物/容器は各自自治体の規則に従って適切に廃棄すること。

(3)組成及び成分情報

- ・ 単一化学物質・混合物の区 : 混合物
有効成分 : モンフルオロトリン、d-T80-レスメトリン
その他の成分: イソプロパノール、ケロシン、LPG、DME
- ・ 成分 : モンフルオロトリン
・ 化学名又は一般名 : 2,3,5,6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル-(EZ)-(1RS,3RS,1RS,3SR)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシレート
- ・ CAS番号 : 609346-29-4(ラセミ体)
・ 官報公示整理番号 : 化審法 非開示、安衛法 4-(7)-2338
・ 化学特性 : $C_{19}H_{19}F_4NO_3$
- ・ 成分 : d-T80-レスメトリン
・ 化学名又は一般名 : (5-ベンジル-3-フリル)メチルd-シス/トランス-グリサンテマート
・ CAS番号 : 10453-86-8(ラセミ体)
・ 官報公示整理番号 : 化審法 (9)-1306、安衛法 8-(4)-645
・ 化学特性 : $C_{22}H_{26}O_3$
- ・ 成分 : イソプロパノール
・ 化学名又は一般名 : イソプロピルアルコール
・ CAS番号 : 67-63-0
・ 官報公示整理番号 : 化審法 (2)-207、安衛法 2-(8)-319
・ 化学特性 : C_3H_8O
- ・ 成分 : ケロシン
・ 化学名又は一般名 : ノルマルパラフィン
・ CAS番号 : 64771-71-7、64771-72-8
・ 官報公示整理番号 : 化審法 (2)-10
- ・ 成分 : LPG
・ 化学名又は一般名 : プロパン、ブタン、イソブタン混合物
・ CAS番号 : 74-98-6、106-97-8、75-28-5
・ 官報公示整理番号 : 化審法 (2)-3、(2)-4
- ・ 成分 : DME
・ 化学名又は一般名 : ジメチルエーテル
・ CAS番号 : 115-10-6
・ 官報公示整理番号 : 化審法 (2)-360
・ 化学特性 : C_2H_6O

(4) 応急措置

- 吸入した場合
 - ・被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - ・気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合
 - ・汚染された衣服をすぐに脱がせ、付着した部分を水と石鹼で洗うこと。
 - ・刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断/手当てを受けること。
 - ・汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合
 - ・十分な水で洗うこと。
 - ・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - ・眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合
 - ・無理に吐かせないこと。
 - ・口をすすぐこと。
 - ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。

(5) 火災時の措置

- ・適切な消火剤 : 二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂、散水
- ・特定の危険有害性 : 加熱により容器が爆発するおそれがある。
- : 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
- ・特定の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。消火作業は可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
- ・消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

(6) 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 - ・屋内の場合、処理が終わるまで換気を十分に行う。
 - ・作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避けること。
 - ・付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- 環境に対する注意事項
 - ・漏出物を環境中に放出してはならない。
 - ・河川等、環境への影響が生じないように注意すること。
- 回収及び除去方法
 - ・土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させて回収する。あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。

(7) 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - : 使用前に必ず製品表示を読み、十分理解した上で使用すること。
 - : 定められた使用方法を守ること。
 - : 今までに薬や化粧品などによるアレルギー症状(例えば発疹・発赤、かゆみ、かぶれなど)を起こしたことのある人、喘息の症状がある人などは、使用前に医師又は薬剤師に相談すること。
 - : 魚に対して毒性があるので池や水槽などに噴霧粒子が入らないように注意すること。
 - : 皮膚、目、飲食物、食器、おもちゃ、ペット類(観賞魚、小鳥など)、飼料、植物、貴重品、美術品、楽器、電気製品などにかからないようにすること。
 - : 人体に向かって噴射しないこと。
 - : 塗装面、プラスチック、建材、壁、樹脂類などは、予め目立たないところに噴射して、影響がないことを確かめたのち、使用すること。
 - : 自動車、大理石や御影石などの石材、白木などには、かからないように注意すること。
 - : 安全のために、防護具、保護メガネ、保護マスクなどを必ず着用して使用すること。
 - : 缶を逆さまにして噴射しないこと。
 - : 植物に直接噴射すると薬害が出る場合があるので注意すること。
 - : 室内では使用しないこと。

- : 使用時には、噴射場所の周囲、特に風下に人がいない事を確認し、風上から噴射すること。
- : 風が強いときは使用しないこと。
- : 噴射量が多く、噴霧粒子が遠くまで到達するので注意すること。
- : ハチ、ムカデなどを駆除するときは、身体の露出部をできるだけ少なくするなど、刺されたり、かまれたりしないよう十分注意し、噴射後はすみやかにその場を離れること。
- : 駆除したハチは直接手で触れないこと。
- : 炎(火源)に向かって噴射しないこと。
- : スズメバチに刺されたときは、すぐに医師の手当てを受けること。
- : 噴霧粒子を直接吸入しないこと。
- : 薬剤が皮膚についたときは、石けんと水でよく洗うこと。目に入ったときは、直ちに水でよく洗い流すこと。
- : 万一、身体に異常を感じたときは、本品がピレスロイド系の殺虫剤であることを医師に告げて、直ちに診療を受けること。
- : 夏場の車内、ファンヒーターなどの周囲を避け、子供の手の届かない涼しいところに保管すること。
- : 水まわりや湿気の多いところは、缶が錆びて破裂する危険があるので置かないこと。

●保管

(8)ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 換気を行うこと。
- 保護具の使用 : 状況に応じて保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。

(9)物理的及び化学的性質

- <エアゾール原液>
- 物理的状態、形状、色等 : 無色～微黄色澄明液体
 - 臭い : 特異なにおい
 - pH : データなし
 - 融点・凝固点 : データなし
 - 沸点(初留点) : データなし
 - 引火点 : 20°C
 - 燃焼又は爆発範囲の上限及び蒸気圧 : データなし
 - 比重(密度) : 0.764 (20°C)
 - 溶解度 : データなし
 - n-オクタノール/水分配係数 : データなし
 - 自然発火温度 : データなし
 - 分解温度 : データなし

(10)安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
- 反応性 : 反応性なし
- 危険有害反応性の可能性 : 情報なし
- 危険有害性のある分解生成 : 燃焼の際は、煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

(11)有害性情報

●急性毒性

<モンフルオロトリン>

- 経口(ラット) : LD₅₀ > 2000 mg/kg
- 経皮(ラット) : LD₅₀ > 2000 mg/kg
- 吸入(ラット) : LC₅₀ > 1030~1329 mg/m³(4時間)
- 皮膚刺激性(ウサギ) : 刺激性なし
- 眼刺激性(ウサギ) : 中等度の刺激性あり
- 皮膚感作性(モルモット) : 感作性なし

<d-T80-レスメトリン>

経口(ラット)	: LD ₅₀ > 450 mg/kg
経皮(ラット)	: LD ₅₀ > 10000 mg/kg
吸入(ラット)	: LC ₅₀ > 1560 mg/m ³ (4時間)
皮膚刺激性(ウサギ)	: 刺激性なし
眼刺激性(ウサギ)	: 刺激性なし
皮膚感作性(モルモット)	: 感作性なし

(12)環境影響情報

<モンフルオロトリン>

水生環境急性有害性	
魚類(ニジマス)	: LC ₅₀ > 1.2 μg/L(96時間)
その他(オオミジンコ)	: EC ₅₀ > 7.8 μg/L(48時間)
水生環境慢性有害性	
魚類(ファットヘッドミノー)	: NOEC 3.1 μg/L
その他(オオミジンコ)	: NOEC 0.5 μg/L(21日)
残留性/分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし

<d-T80-レスメトリン>

水生環境急性有害性	
魚類(コイ)	: LC ₅₀ > 8.42 μg/L(96時間)
水生環境慢性有害性	: 情報なし
残留性/分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし

(13)廃棄上の注意

・捨てるときは、火気のない通気性のある屋外で、ガス抜きボタンを利用するか、噴射音が消えるまでガスを抜き、地域の規則に従って捨てること。

(14)輸送上の注意

国連分類	: クラス2.1 (引火性ガス)
国連番号	: 1950 (エアゾール類)
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。温度の上昇を防止する。また、火気の付近に置かない。

(15)適用法令

危険物船舶運送及び貯蔵規則	: クラス2.1 (引火性ガス)
高圧ガス保安法	: 高圧ガス適用除外
安衛法	: 通知対象物質 : イソプロピルアルコール ブタン 表示対象物質 : イソプロピルアルコール ブタン 危険物 : 引火性の物、可燃性のガス
有機溶剤中毒予防規則	: 有機溶剤含有物 : イソプロピルアルコール
化学物質管理促進法(PRTR)	: 第2種指定化学物質;レスメトリン
消防法	: [エアゾール原液] 危険物第4類第一石油類、危険等級Ⅱ

(16)その他の情報

改訂履歴: 作成日 2020年 4月 6日

緊急連絡先:

財団法人 日本中毒情報センター

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。

処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話
大阪(365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば(365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性等についてはいかなる保証をなすものではありません。定められた用法・用量及び使用上の注意事項に従ってご使用下さい。